

レアアースと 日豪友好協力基本条約 50周年

次期駐日オーストラリア大使

アンドリュー・シーラー
Andrew SHEARER



AUSTRALIA – JAPAN
50 years of Friendship and Cooperation
日本オーストラリア友好協力50周年

オーストラリアと日本は2026年、1976年6月16日に署名された日豪友好協力基本条約署名50周年を迎えます。本条約は両国の友好関係や国益の共有、経済分野のパートナーシップを文書化したもので、半世紀にわたり強化してきた協力の枠組みを提供しました。

両国の経済パートナーシップは、インド太平洋地域で最も長期的な関係のひとつです。1960-70年代には貿易が中心でしたが、今日では特別な戦略的パートナーシップへと進化を遂げ、防衛協力や経済安全保障、エネルギー転換、技術革新、地域の安定を網羅するに至っています。

国際社会が複雑さと不確実性を増すなか、日豪のパートナーシップは強化の一途をたどっていますが、これを支えるのが、レアアースを含む戦略面で不可欠な重要鉱物です。

レアアースは電気自動車や風力タービンに使われる高性能磁石の製造に用いられ、先端技術を支えるなど、現代の経済に欠かせない存在です。その世界的需要が高まるなか、安全で信頼できる多様化されたサプライチェーンの必要性が高まっています。

この状況に対応し、オーストラリアは重要鉱物分野の信頼性、持続性を支えるための包括的な政策枠組みを導入しました。

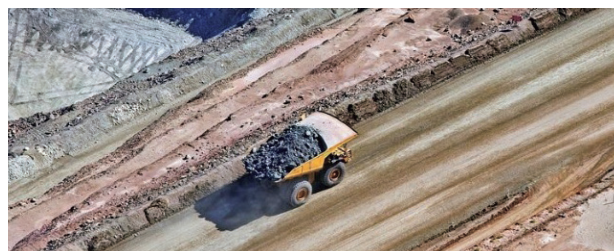
この措置の中心に位置するのが、重要鉱物戦略と呼ばれるわが国の政策です。この文書には、オーストラリアを世界の主要供給国とするための長期的ビジョンが定められており、探査から採掘、加工、下流の製造

に至るまでの投資を支える内容です。

本施策は、戦略的に重要なプロジェクトへの照準を絞った資金的支援が中心です。重要鉱物戦略備蓄制度や、オーストラリア輸出金融公社が管理する重要鉱物ファシリティのような枠組みを通じて、オーストラリア政府は、新プロジェクトの市場展開や生産能力の拡大に資金的援助を行っています。これらの投資は開発への障壁を引き下げ、サプライチェーンの強靭性を高めるとともに、日本のような信頼できるパートナーとの協力の機会を生み出します。

また、こうした資金面での支援を補完する形で、オーストラリアは規制の透明性や高い環境基準、地域住民の声の反映に力を注いでいます。責任ある形での資源の開発は長期的な持続性を支え、倫理的に調達された安心できる原材料を求める国際パートナーの信頼を育みます。

日本はオーストラリアのレアアース業界の発展に、早い時期から一貫して関わってきました。両国の関係は2022年、政策やビジネス面での成果に向けた調整を強化すべく日豪重要鉱物資源パートナーシップを発表しました。しかし実際にはそれ以前から、日本企業や商社、政府機関はわが国のプロジェクトに投資を行い、重要な長期契約を締結するとともに、技術革新に関する



オーストラリアは、現代生活に不可欠なレアアースなどの豊富な天然資源に恵まれています。

る協力を行ってきました。こうしたパートナーシップからは、日豪関係の土台にある長期的かつ戦略的な信頼関係が浮かび上がります。

こうした好例が、日本によるわが国のライナス社との長期的な提携関係です。双日株式会社との間で2011年、軽希土類の独占販売契約が結ばれて以来、ライナス社は中国以外でレアアース最大の生産企業へと成長しました。また2025年10月以降、同社はジスプロシウム、テルビウムをはじめとする重希土類の日本輸出を開始しています。これは両国の協力により、レアアース分野で何が実現できるのかを示す出来事です。

オーストラリアのレアアース産業の継続的な発展に、日本の専門技術は欠かせません。精密製造や先端材料工学、資源の効率性における日本の強みは、わが国の資源の潤沢性を補完します。両国の協力は、探査から採掘、加工、精製、部品製造、リサイクルまでの全工程で行うことが可能です。

将来を見据え、レアアースで多大な機会を

重要鉱物の世界的需要は、今後数十年で著しく高まると予測されており、今後は新たな採掘プロジェクトのみならず、加工やリサイクル分野のイノベーションが求められます。

両国は、この課題に協力して取り組める独自の立場にあります。

オーストラリアの豊富な資源と日本の主導的な技術力を組み合わせることで、両国は多様性や透明性、強靭性を併せ持つサプライチェーンの構築が可能です。これにより、二国間関係やインド太平洋地域の経済・エネルギー安全保障が強化されます。こうした共通の目標は、2026年3月19日、高市首相とトランプ大統領の会談後に発表された日米重要鉱物プロジェクト協力に関する共同ファクトシートに、3件のオーストラリア・

プロジェクトが含まれるという形で反映されました。

レアアースや他の重要鉱物は生産量は少ないものの、その戦略的重要性はきわめて高いものです。これらの資源は、世界のエネルギー転換やデジタル経済、次世代先進技術の中枢に位置しています。

オーストラリア政府は、日本との重要鉱物パートナーシップをさらに格上げし、貴重な資源が、私たちの地域や世界の将来のさらなる持続性や革新性、安心を支えるようにしたいと考えています。

友情と協力の50周年を迎えるにあたり、私たちはこれまでの半世紀と同様、次の50年間における日豪パートナーシップが、両国およびインド太平洋地域の繁栄に欠かせないことを確信しています。

(著者略歴)

アンドリュー・シーラー次期駐日オーストラリア大使

オーストラリア政府全般にわたり、外交政策や国家安全保障の専門家として35年間のキャリアを誇る。これまで内閣情報庁長官や内閣補佐官のほか、二人の首相に上級顧問として就いた経験がある一方、キャリア全体を通じて日本と深く関わってきた。

また、在米オーストラリア大使館や首相内閣省、外務貿易省、国防大臣室、ヴィクトリア州政府首相内閣省などで数多くの要職を経験してきた。

ワシントンに拠点を置く戦略国際問題研究所でアジア太平洋安全保障シニアアドバイザー、およびローウィー国際政策研究所で研究ディレクターを務めた際には、自らの分析が様々な海外メディアや新聞、雑誌、書籍に取り上げられた。さらに米国防総省および同国のインテリジェンス・コミュニティより、文民向けの最高位勲章をそれぞれ授与されている。

ケンブリッジ大学で国際関係の修士号、メルボルン大学で人文学士号、法学士号（共に優等学位）を取得している。

オーストラリア政府主導による**重要鉱物セクターへの投資ガイドブック**には、レアアースをはじめとする様々な重要鉱物に関連する60の企業と78の国内プロジェクトが紹介されています。オーストラリアの資源や技術力を始め、信頼できる投資パートナーとしての可能性が取り上げられています。



オーストラリアの**重要鉱物戦略**には、国内重要鉱物分野の発展や、日本のような国際パートナーとの多様で強靭なサプライチェーンの構築についての政府のビジョンが打ち出されています。



お問い合わせ

オーストラリア大使館商務部

E-mail : enquiry.japan@ustrade.gov.au



本年のインド太平洋エネルギー安全保障閣僚・ビジネスフォーラム (IPEM) に出席したオーストラリアのマデレン・キング資源・豪北部大臣